

学校法人 金沢医科大学 平成24年度決算

学校法人金沢医科大学の平成24年度決算が、5月30日(木)開催の第221回理事会及び第118回評議員会において承認されました。その概要及び収支等の状況は次のとおりです。

1. 概要

平成24年度は、創立40周年を迎え10月には記念式典を挙行し、記念事業の一環であるレジデントハウスが完成し、さらに医学教育棟建設工事にも着手しました。教育・研究面では、国の補助金を得て研究施設及び研究装置設備を整備し、さらに、若手研究者らを対象とする特別研究推進事業を実施して研究の活性化を図りました。また、国家試験強化対策事業の推進及び実習室、学習室の増設・改修など教育環境の整備を行いました。病院部門では、引き続き看護師の募集活動や就業環境改善、老朽化施設及び医療機器の更新などを行いました。

2. 消費収支計算書の状況

【主な収入】

(1) 学生生徒等納付金

医学部生の減少等により、前年比9百万円減の48億9千1百万円となりました。学生数は、医学部生662名、大学院生83名、看護学部生256名の合計1,001名です。

(2) 寄付金

寄付金総額は、前年比2億6千1百万円増の10億9千7百万円となりました。このうち4億2千4百万円が創立40周年記念事業に係るものです。

(3) 補助金

補助金総額は、前年比3億1千8百万円増の16億3千5百万円となりました。

うち、私立大学等経常費補助金は12億2千3百万円で、文部科学省研究装置設備補助金は戦略的研究基盤形成支援事業補助金、教育研究活性化設備整備補助金と合わせて1億7千4百万円となりました。その他の補助金には、レジデントハウス建設に係る補助金1億2千8百万円が含まれています。

(4) 医療収入

医療収入総額は、過去最高の191億5千1百万円となりました。

入院収入は、病床利用率が84.4%と0.2ポイント増加し、診療単価が5.5%増加したことなどにより、前年比2億9千1百万円増の144億2百万円となりました。

一方、外来収入は、外来延患者数が0.4%減少しましたが、診療単価が1.9%増加したことなどにより、前年比4千9百万円増の47億4千9百万円となりました。

なお、医療収入の帰属収入に占める割合は69.3%(前年度70.7%)です。

【主な費用】

(1) 人件費

人件費総額は、前年比3億8千6百万円増となる126億2千万円となりました。うち、教員人件費は、7千1百万円増の38億3千7百万円、職員人件費は看護師などの医療スタッフ増員により、2億4千4百万円増の79億7千8百万円、役員報酬は9千万円、退職給与引当金繰入額及び退職金は7千4百万円増の7億1千5百万円となりました。

なお、人件費の帰属収入に占める割合は45.7%（前年度46.0%）です。

(2) 教育研究経費

医学部及び看護学部の国家試験強化対策事業の拡充、戦略的研究基盤形成支援事業の実施、若手医師及び本学卒業生の研究活性化を目的とする特別研究推進事業の実施、国からの委託研究の増加により前年比6千6百万円増の17億6千9百万円となりました。

(3) 医療経費

前年比5千7百万円増の88億3千万円となりました。医療収入の増収に伴い、薬品費が2千9百万円の増、医療材料費が7千4百万円の増となりました。

なお、医療経費の医療収入に占める割合は45.8%（前年度46.6%）、帰属収入に占める割合は32.0%（同33.0%）です。

(4) 減価償却額及び資産処分差額等

減価償却額及び資産処分差額の合計額は、前年比5千8百万円増の27億4千2百万円となりました。

この結果、帰属収入の部合計276億2千8百万円から、消費支出の部の合計266億5千7百万円を差引いた収支差額は、前年比3億4千9百万円増となる9億7千1百万円の収入超過となりました。

消費収支計算書

(自)平成24年4月1日

(至)平成25年3月31日

(単位：百万円)

消費収入の部			消費支出の部		
科目	金額	前年比	科目	金額	前年比
学生生徒等納付金	4,891	9	人件費	12,620	386
手数料	178	8	教育研究経費	1,769	66
寄付金	1,097	261	医療経費	8,830	57
補助金	1,635	318	管理経費	694	111
資産運用収入	143	8	借入金等利息	2	1
事業収入	364	66	減価償却額及び		
医療収入	19,151	340	資産処分差額等	2,742	58
雑収入	169	36			
帰属収入合計	27,628	1,028	消費支出の部合計	26,657	679
			(収支差額)	(971)	(349)
基本金組入額	1,852	1,053	有価証券評価差額	0	0
消費収入の部合計	25,776	25	消費収支差額	881	704

(注) は計算書式上のマイナス表示、 は比較上のマイナスを表示（以下同じ）

前年比は平成23年度決算との比較です。

3. 資金収支計算書の状況

【主な資金収入・支出】

消費収支計算書で説明した項目については割愛させていただきます。

(1) 借入金等収入

期中の運転資金として銀行から 10 億円を借入れしました。

また、教育振興基金（学校債）を募集し、3 億 6 千 3 百万円の資金調達を行いました。

(2) 借入金等返済支出

期中に借入れた短期借入金 10 億円を返済しました。

また、学校債の定期償還及び繰上償還等で、3 億 9 千 8 百万円の償還を実施しました。

(3) 施設・設備関係支出

施設関係支出では、医学教育棟建設工事着手金 13 億 4 千 5 百万円、レジデントハウス建設工事 7 億 5 百万円（うち、補助金交付額 1 億 2 千 8 百万円）、基礎研究棟受変電設備更新工事 7 千 8 百万円、中央監視装置リモートステーション更新工事 6 千 3 百万円、構内駐車場増設工事 5 千 1 百万円ほかで、合計 23 億 8 千万円を支出しました。

設備関係支出では、細胞解析分離装置セルソータシステム 7 千 5 百万円（うち、補助金交付額 3 千 5 百万円）、液体クロマトグラフ質量分析計 5 千万円（同、2 千 5 百万円）、高速高感度タイムラプスシステム 5 千万円（同、2 千 5 百万円）、血管インターベンション・シミュレーショントレーナー 5 千万円（同、5 千万円）及び医療機器の更新などで、合計 6 億 7 千 4 百万円を支出しました。

資金収支計算書

（自）平成 24 年 4 月 1 日

（至）平成 25 年 3 月 31 日

（単位：百万円）

収入の部			支出の部		
科目	金額	前年比	科目	金額	前年比
学生生徒等納付金収入	4,891	9	人件費支出	12,753	635
手数料収入	178	8	教育研究経費支出	1,769	66
寄付金収入	1,064	264	医療経費支出	8,826	55
補助金収入	1,635	318	管理経費支出	694	111
資産運用収入	143	8	借入金等利息支出	2	1
事業収入	364	66	借入金等返済支出	1,398	127
医療収入	19,151	340	施設関係支出	2,380	1,894
雑収入	169	36	設備関係支出	674	50
借入金等収入	1,363	22	資産運用支出	0	382
前受金収入	2,649	145	その他の支出	3,204	5
その他の収入	4,076	269			
資金収入調整勘定	6,212	352	資金支出調整勘定	2,822	208
前年度繰越支払資金	5,421	1,198	次年度繰越支払資金	6,014	593
収入の部合計	34,892	2,683	支出の部合計	34,892	2,683

（注） は計算書式上のマイナス表示、 は比較上のマイナスを表示（以下同じ）。

前年比は平成 23 年度決算との比較です。

(4) その他の支出

その他の支出には奨学事業貸付金が含まれており、医学部生に1億6百万円、看護学部生に9千万円を支出しました。

以上の資金収支計算の結果、平成24年度の次年度繰越支払資金(手持運転資金)は前年比5億9千3百万円増となる60億1千4百万円となりました。

4. 貸借対照表の状況

【主な増減】

(1) 資産の部

資産総額は、前年比8億4千3百万円増の549億2千9百万円となりました。

これは、建物ほかの除却や減価償却による減少額に対して建設仮勘定や流動資産の増加額が上回ったことによるものです。

建設仮勘定が11億5千1百万円増加しているのは、医学教育棟建設工事の着手金を支払ったためです。

長期貸付金は医学部生、看護学部生への奨学貸付金で、6億9千1百万円となりました。

流動資産のうち、現金預金は5億9千3百万円増の60億1千4百万円となりました。

(2) 負債の部

負債総額は、前年比1億2千8百万円減の170億9千1百万円となりました。

退職給与引当金は、前年比1億3千3百万円減の75億5千万円となりました。

前受金が減少したのは、学納金の前後期分割納入制度の進行によるものです。

(3) 正味財産は、前年比9億7千1百万円増の378億3千8百万円となりました。この結果、資産総額に対する正味財産の割合は68.9%となり、前年度より0.7ポイント増加しました。

なお、情報公開の一環として、平成24年度財務関係書類(財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書及び監査報告書)を本学のホームページ上に掲載しています。

(<http://www.kanazawa-med.ac.jp> 「事業報告及び決算について」)

5. 金沢医科大学氷見市民病院の状況

新病院開院1周年を迎えた平成24年度は、医療スタッフを増員し10月から7対1看護体制を確保するなどの増収策により医業収益は大幅に増加しました。この結果、医業利益は改善し、経常利益は9千5百万円の黒字となりました。

(1) 損益計算書

医業収益は、前年比4億6千8百万円増の50億6千8百万円で、入院収益は、前年比4億3千万円増の32億6千3百万円、外来収益は、前年比3千万円増の17億8千5百万円です。

医業費用は、前年比5千4百万円増の53億7千2百万円で、材料費が前年比8千3百万円減の14億8千8百万円、給与費が前年比6千8百万円増の28億9千7百万円、委託費が4億5千1百万円、設備関係費が1億1千万円、その他の経費で2億3千8百万円、氷見市への指定管理者負担金は7千9百万円増の1億8千8百万円です。

補助金収益は、氷見市からの交付金3億6千8百万円など3億7千8百万円です。

(2) 貸借対照表

資産総額は14億5千8百万円、負債総額は8億9千万円、純資産は5億6千8百万円です。

流動資産は13億1千9百万円です。

うち、現金預金は1千2百万円、未収入金は12億5千8百万円、貯蔵品は4千9百万円です。

流動負債は6億6千4百万円です。

うち、未払金は4億7千万円、預り金は4千3百万円、賞与引当金は1億5千1百万円です。

固定負債は退職給付引当金で、2億2千6百万円です。

純資産のうち大学会計からの収益事業元入金は8億4千7百万円となりました。

(財務部 大野木辰也 記)

金沢医科大学氷見市民病院 損益計算書
(自)平成24年4月1日
(至)平成25年3月31日

(損益計算書)		(単位:百万円)	
科 目	決算額	科 目	決算額
医業収益	5,068	医業費用	5,372
入院収益	3,263	材料費	1,488
外来収益	1,785	給与費	2,897
受託事業収益	6	委託費	451
施設設備利用収益	14	設備関係費	110
		経費	238
		指定管理者負担金	188
		医 業 利 益	304
医業外収益	399	医業外費用	0
寄付金収益	10		
補助金収益	378		
雑益	11	経 常 利 益	95

金沢医科大学氷見市民病院 貸借対照表
平成25年3月31日現在

(貸借対照表)		(単位:百万円)	
科 目	決算額	科 目	決算額
流動資産	1,319	流動負債	664
現金及び預金	12	未払金	470
未収入金	1,258	預り金	43
徴収不能引当金	9	賞与引当金	151
貯蔵品	49	その他	0
その他	9	固定負債	226
固定資産	139	退職給付引当金	226
工具器具備品	174	負債の部合計	890
減価償却累計額	36	純資産	568
車輛	2	元入金	847
減価償却累計額	1	利益剰余金	279
		純資産の部合計	568
資産の部合計	1,458	負債・純資産合計	1,458